

ちょっと道徳

庭坂小学校
道徳便り
研究公開特別号
平成28年11月9日(水)

ちょっと紹介！3の2の授業

10月28日(金) 3年2組の公開研究授業をご紹介します。



3年2組
指導者：坂上明恵
主題「友を思う心」
教材「泣いた赤おに」

←友達と意見を交流する場面

「泣いた赤おに」というお話をご存知の方も多いと思います。人間の友達が欲しい赤おにのために、自ら悪者の役を買って出た青おに。ようやくできた人間の友達と仲良く暮らしてもらいたくて、青おには赤おにに向けた手紙を残し、長い旅に出てしまいます。そしてその手紙を読んだ赤おには泣いてしまうというお話です。今回は、このお話から「人間の友達ができたのにどうして赤おには泣いてしまったのだろう」という学習テーマで、友達についての考えを深めた授業でした。

授業の最初では、「青おにが居いなくなってしまうから泣いた。」と考えていた子供たち。しかし、自分で考えたり、話し合いを進めていく中で、「こんなことをしてまで友達は要らなかった。」「ぼくのためにこんなにしてくれる君は優しい。」「ぼくが悪かつ

た。ごめんね。」といった、赤おにの複雑な思いに寄り添って考えを深めることができました。



更に、「人は本当の友達なのかな？」と尋ねると、「お互いに大切に思っている。」「人には絆がある。」といった意見まで出てきました。

授業の終わりには、3年2組で歌っている、「ひまわりの約束」という歌を歌いました。すると、自然と手を繋ぎ、歌いだす子供たち。どんなことを考えながら歌っていたのでしょうか。

授業を振り返って

授業を受けて子供たちが考えたことを少し紹介します。

赤おにと青おにのように、優しく大切な友達を作って、きずなを深めていきたい。(喜響)

青おにのようにやさしい友達がほしい。逆に自分が青おにのように優しくなりたい。(慎一)

本当の友達は、あそこまでのことができるんだと思った。(夕翔)

友達はきずながないとだめなんだな。仲良くなれば、きずなが生まれる。(楓音)

もっと友達とのきずなを深めていきたい。(凜)

赤おにと青おにのように優しい人になりたい。(結衣)

これから友達をもっとふやして、もっと大切にする。(月斗)



～子供たちの考え一つ一つに驚かされ、教師自身が友達について気付かされる授業でした～

(文責 坂上 明恵)